

第2部 活動報告

1. 活動記録

2022年度において高等研センターが行った活動は以下のとおりである。

開催件数	研究会(講演会、シンポジウム含む)	17件
	北大道新アカデミー	1件(全8回)
刊行物	高等法政教育研究センター年次報告書 (2021年度)	2022年7月(WEB公開)
高校・中学等の 訪問対応	無し	

2022 年度に開催した講演会・シンポジウム・ワークショップ 一覧

開催日	内容
04 月 23 日 (土)	<p>法理論研究会定例研究会 「法の支配の趣旨や要素について」</p> <p>時間：14 時～ 場所：Zoom を利用したオンライン・ミーティング 報告者：平井光貴氏（立教大学法学部法学科助教、法哲学） テーマ：「法の支配の趣旨や要素について」 主催：北海道大学法理論研究会、 北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>
05 月 07 日 (土)	<p>法理論研究会定例研究会 「比較法における家族関係の保護——慰謝料請求を中心に——」</p> <p>時間：14 時～ 場所：Zoom を利用したオンライン・ミーティング 報告者：ルベン・エンリケ・ロドリゲス・サムディオ氏 （北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター協力研究員、比較法） テーマ：「法の支配の趣旨や要素について」 主催：北海道大学法理論研究会、 北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>
05 月 16 日 (月)	<p>HOPS ウェビナー（学内向け） 「行動変容のための「ナッジ」について」</p> <p>時間：16：30～18：00 場所：オンライン（ウェビナー） 報告者：環境省大臣官房総合政策課 池本忠弘 ナッジ戦略企画官 テーマ：「行動変容のための「ナッジ」について」 主催：北海道大学公共政策大学院（「文理融合政策事例研究」の一環） 共催：北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>
06 月 11 日 (土)	<p>法理論研究会定例研究会 「沈黙の作り方：日本における先制的デモ規制体制」</p> <p>時間：14 時～ 場所：北海道大学法学部棟 3 階 315 号室（高等教育研究センター会議室）（Zoom を利用したオンライン・ミーティングとのハイフレックス） 報告者：許仁碩氏（北海道大学大学院法学研究科助教、法社会学） テーマ：「沈黙の作り方：日本における先制的デモ規制体制」 主催：北海道大学法理論研究会、 北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>
07 月 11 日 (月)	<p>講演会「初音ミクの『ルールデザイン』 ～創作とブランディングと知財法の交点の視点から～」</p> <p>時間：10 時 30 分～12 時 場所：北海道大学大学院 国際広報メディア・観光学院メディア棟 105 演習室（Zoom を利用したオンライン・ミーティングとのハイフレックス） 演題：「初音ミクの『ルールデザイン』 ～創作とブランディングと知財法の交点の視点から～」 講演：菱山豊史 氏（クリプトン・フューチャー・メディア株式会社法務担当） 主催：北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院 共催：北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>

<p>07月16日 (土)</p>	<p>法理論研究会定例研究会 「生とインフラ —法学的接近—」</p> <p>時間：14時～ 場所：北海道大学法学部棟3階315号室（高等教育研究センター会議室）（Zoomを利用したオンライン・ミーティングとのハイフレックス） 題目：生とインフラ —法学的接近— 報告者：米田 雅宏 氏（北海道大学大学院法学研究科教授、行政法） 主催：北海道大学法理論研究会、 北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>
<p>07月21日 (木)</p>	<p>公開講演会 「ロシアによるウクライナ侵攻—なぜ起きたのか、どう終わらせるのか」</p> <p>日時：2022年7月21日(木) 16時30分～18時 形式：ハイフレックス方式 ・対面（北海道大学 W203）・Zoom ウェビナー 演題：「ロシアによるウクライナ侵攻—なぜ起きたのか、どう終わらせるのか」 講師：遠藤 乾（東京大学教授） 司会：辻 康夫（北海道大学法学研究科教授） 主催：北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター 共催：北海道大学公共政策大学院</p>
<p>09月03日 (土)</p>	<p>法理論研究会特別会 「判決文の計量言語学的考察」</p> <p>時間：14時～ 場所：北海道大学法学部棟3階315号室（高等教育研究センター会議室）（Zoomを利用したオンライン・ミーティングとのハイフレックス） 題目：判決文の計量言語学的考察 報告者：堀田 秀吾 氏（明治大学法学部教授、法言語学） 主催：北海道大学法理論研究会、 北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター ※科学研究費挑戦的萌芽研究「法言語の美的洗練による応答性の向上—計量言語分析と社会心理実験による検証—」（尾崎一郎）の研究会との共催</p>
<p>09月17日 (土)</p>	<p>法理論研究会定例研究会 「菅原寧格著『価値相対主義問題とは何か』（信山社、2022年）書評会」</p> <p>時間：14時～ 場所：北海道大学法学部棟3階315号室（高等教育研究センター会議室）（Zoomを利用したオンライン・ミーティングとのハイフレックス） 題目：菅原寧格著『価値相対主義問題とは何か』（信山社、2022年）書評会 コメンテーター： 中山竜一氏（大阪大学大学院法学研究科教授、法哲学） 関良徳氏（信州大学教育学部教授、法理論・法哲学） 宮田賢人氏（小樽商科大学商学部准教授、法哲学） 応答者：菅原寧格氏（北海学園大学法学部教授、法哲学・法思想史） 主催：北海道大学法理論研究会、 北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>

<p>10月22日 (土)</p>	<p>法理論研究会定例研究会 「陪審制の現在：アメリカ陪審制の二重の神話」</p> <p>時間：14時30分～ 場所：北海道大学法学部棟3階315号室（高等教育研究センター会議室）（Zoomを利用したオンライン・ミーティングとのハイフレックス） 題目：陪審制の現在：アメリカ陪審制の二重の神話 報告者：会沢 恒 氏 （北海道大学大学院法学研究科教授、比較法・英米法） 主催：北海道大学法理論研究会、 北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>
<p>11月26日 (土)</p>	<p>法理論研究会定例研究会 「日本における人格権の発達と社会変動」</p> <p>時間：14時～ 場所：北海道大学法学部棟3階315号室（高等教育研究センター会議室）（Zoomを利用したオンライン・ミーティングとのハイフレックス） 題目：日本における人格権の発達と社会変動 報告者：澤出 成意人氏 （東京大学大学院法学政治学研究科修士課程、法社会学） 主催：北海道大学法理論研究会、 北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>
<p>12月17日 (土)</p>	<p>法理論研究会定例研究会 「法律家の『キャラクター化』： 弁護士情報の実践からみる法専門職の自律性」</p> <p>時間：14時～ 場所：北海道大学法学部棟3階315号室（高等教育研究センター会議室）（Zoomを利用したオンライン・ミーティングとのハイフレックス） 題目：法律家の「キャラクター化」： 弁護士情報の実践からみる法専門職の自律性 報告者：郭 薇 氏（北海道大学大学院法学研究科准教授、法社会学） 主催：北海道大学法理論研究会、 北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>
<p>01月13日 (金)</p>	<p>「先住民族の権利に関する国連宣言」15周年記念 公開講演会「国連宣言採択から15年—意義と課題」</p> <p>時間：18時～20時 形式：Zoomを利用したオンライン講演会（定員500名） 参加：無料（要申込） 講演題目：「国連宣言採択から15年—意義と課題」 講師：小坂田裕子氏（中央大学教授・国際人権法） 司会・コメント：辻 康夫（北海道大学法学研究科教授） 共催：北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター、 北海道大学アイヌ・先住民研究センター</p>

02月11日 (土)	<p>法理論研究会特別会 『フランス夫婦財産法』合評会</p>
	<p>時間：15時30分～ 場所：北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟 W101 教室 (Zoomを利用したオンライン・ミーティングとのハイフレックス) 題目：『フランス夫婦財産法』解題 報告者：幡野弘樹氏(立教大学法学部教授、民法) 大島梨沙氏(新潟大学教育研究院人文社会科学系准教授、民法) 齋藤哲志氏(東京大学大学院法学政治学研究科教授、フランス法) 参考文献：幡野弘樹・齋藤哲志・大島梨沙・金子敬明・石綿はる美 『フランス夫婦財産法』(有斐閣、2022) 主催：北海道大学法理論研究会、北海道大学民事法研究会、 北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>
02月18日 (土)	<p>法理論研究会特別会 「<法的世界の解釈学>の探究」(長谷川晃先生最終講義)</p>
	<p>時間：14時～ 場所：北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟 W203 教室 (Zoomを利用したオンライン・ミーティングとのハイフレックス) ※ただし報告者の長谷川先生は御自宅からリモートで講演されます。 題目：<法的世界の解釈学>の探究 報告者：長谷川 晃 氏(北海道大学名誉教授、法哲学) 主催：北海道大学法理論研究会、 北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>
03月03日 (金)	<p>HOPS セミナー 「地域医療ネットワークの拡充に向けて～医療情報化の現状と展望～」</p>
	<p>時間：16:30 ～ 18:00 場所：オンライン開催 講演：伊藤 敦(京都府立大学公共政策学部教授・医療経済学) 奥村 貴史(北見工業大学工学部教授・公衆衛生情報学) コメント1：山本 強(北大産学地域協働推進機構客員教授・医療情報学) コメント2：川久保 寛(北大院法学研究科准教授・社会保障法学) コメント3・司会：村上 裕一(北大院公共政策学連携研究部准教授・行政学) 主催：北海道大学公共政策大学院、北海道大学法学研究科、 同附属高等法政教育研究センター</p>
03月04日 (土)	<p>法理論研究会定例研究会 「現代における模合の慣習の意味と機能」</p>
	<p>時間：14時～ 場所：北海道大学法学部棟3階315号室(高等教育研究センター会議室) (Zoomを利用したオンライン・ミーティングとのハイフレックス) 題目：現代における模合の慣習の意味と機能 報告者：渡口 紘子 氏(北海道大学大学院法学研究科博士課程、法社会学) 主催：北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>